

議 事 次 第

4. 資 料 委2-1 第1回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委2-2 M-3S II - 8号機発表文
 ~~M-3S II - 8号機の異常飛翔について~~

委 2 - 1

第 1 回宇宙開発委員会（定例会議） 議事要旨（案）

1. 日時 平成 7 年 1 月 1 1 日（水）
1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 2 0
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
(2) 平成 7 年度政府予算案について
4. 資料 委 1 - 1 第 2 0 回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨（案）
委 1 - 2 - 1 平成 7 年度宇宙関係予算政府案の概要
委 1 - 2 - 2 平成 7 年度宇宙関係予算政府案
委 1 - 2 - 3 平成 7 年度宇宙開発関係経費等総括表
5. 出席者
宇宙開発委員会委員長代理 野 村 民 也
宇宙開発委員会委員 内 田 勇 夫
" 山 口 開 生

関係省庁
通商産業省機械情報産業局次長 中 野 正 孝（代理）
郵政大臣官房審議官（通信政策局担当） 岡 井 元 "
文部大臣官房審議官（学術国際局担当） 長谷川 正 明 "

事務局
科学技術庁研究開発局長 沖 村 憲 樹
科学技術庁長官官房審議官 宮 林 正 恭
科学技術庁研究開発局宇宙企画課長 坂 田 東 一

他
6. 議事
(1) 前回議事要旨の確認について
第 2 0 回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨（資料委 1 - 1）が確認された。
(2) 平成 7 年度政府予算案について
事務局より、資料委 1 - 2 - 1、資料委 1 - 2 - 2 及び資料委 1 - 2 - 3 に基づき説明が行われた。

M-3SII-8号機発表文

平成7年1月16日

宇宙研観測ロケット実験班

M-3SII-8号機は、日本標準時の平成7年1月15日22時45分、ランチャ設定角 75.5° 、方位角 92° で発射されました。

第1段ロケット及び第2段ロケットの途中までの飛翔は正常でしたが、第2段ロケットの燃焼末期に予定の軌道を外れ、高めの経路に乗りました。その後必要な修正コマンドを地上から送信しましたが、第3段点火と同時にレーダによる追尾が不能になり、第3段とキックモータの点火は確認できませんでした。

EXPRESS衛星はキックモータとの分離に成功し、宇宙科学研究所鹿児島宇宙空間観測所では、日本標準時の1月16日0時19分から26分間、第1周回目の衛星からの電波を受信しました。またサンチャゴ地上局においても、日本標準時の1月16日1時02分から30秒間、EXPRESS衛星からの電波を受信しました。しかしその後両局とも衛星からの電波を受信することができなくなりました。

これまでに得られた情報によれば、衛星は予定外の軌道に投入され、軌道寿命は2～3周回であったと考えられます。ドイツ宇宙オペレーション・センター(GSOC)は、打上げの約9時間後における衛星電波受信の試みを最後として、EXPRESSミッションの遂行を断念しました。

本日の天候は晴れ、南の風 $1\text{m}/\text{秒}$ 、気温 5°C でした。

なお、この実験実施にご協力いただいた関係各方面に感謝します。

以 上